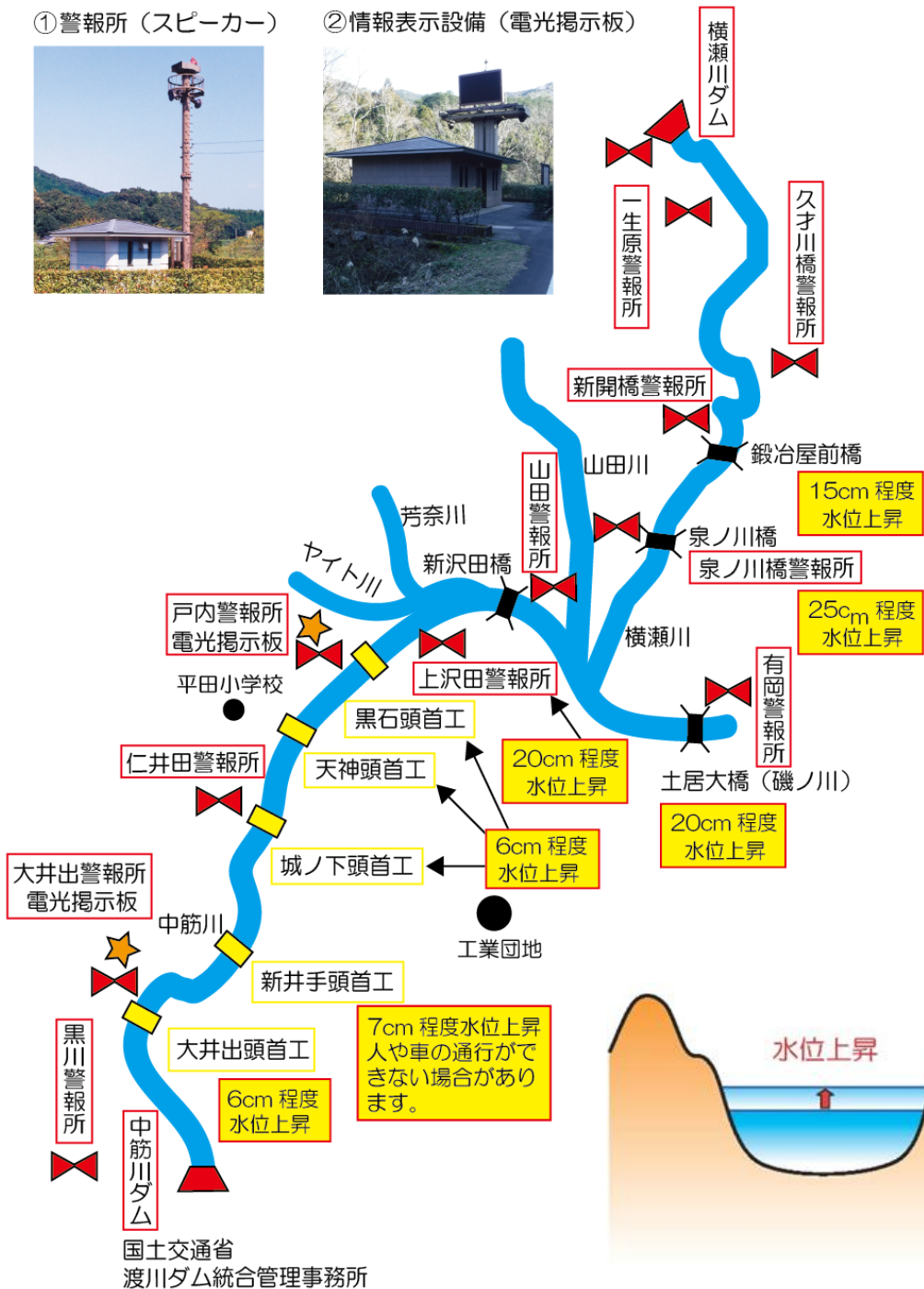


事前放流についてのお知らせ

- 中筋川ダム・横瀬川ダムでは、洪水が予想される場合にダムに貯めている水をあらかじめ流し、洪水調節容量を確保する『事前放流』を行います。
- 事前放流を行うと、ダム下流河川の水位が上昇します。事前放流を行う場合は警報所のスピーカー、情報表示設備（電光掲示板）を使ってお知らせします。危険ですので、河川内へは立ち入らないようにしてください。

事前放流を行った時の水位上昇量



事前放流について

事前放流の目的

事前放流は、大雨などで洪水の発生が予測される場合、事前にダム
の水位を下げ、洪水時の水を貯めることのできる容量を一時的に
増加させるものです。

近年の豪雨災害を受け、緊急時に既存ダムの有効貯水容量を洪水
調節に最大限に活用できるよう、全国の一級水系河川で河川管理者、
ダム管理者、関係利水者で「治水協定」を締結し洪水被害軽減のため
取り組みを強化しています。

事前放流を実施する目安

中筋川ダム、横瀬川ダムでは下記のいずれかの状況が確認される
場合に事前放流の実施を検討します。

- 各ダムの上流域の予測降雨量が事前放流実施の目安として定めた
基準降雨量を超える予測となったとき。
- 台風の5日間の予測進路が四国地方に接近する予測となった場合。

予測に基づく事前放流の実施は3日～5日間程度です。

事前放流で確保する容量

中筋川ダム、横瀬川ダムの事前放流は、ダムの水位が通常時の満
水の高さまでであった場合、以下の容量を確保することを目標に行い
ます。

- 中筋川ダム 1, 130, 000m³
- 横瀬川ダム 220, 000m³

【問合せ先】

国土交通省 渡川ダム統合管理事務所 管理課
電話 0880-66-2501